

## 知事と区市町村長との意見交換（府中市）

令和1年9月27日（金）

11時30分～11時50分

○**行政部長** それでは早速ですが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** おはようございます。今日は府中からお越しいただきまして、ありがとうございます。また、都政運営につきまして平素よりの御支援、また御協力ありがとうございます。

ちょうどラグビーのワールドカップ真っ最中ということでございますし、また、来年にはいよいよ東京2020、先日も素晴らしいグラウンドを見せていただきましたし、給食センターも現場でいろいろと御活動の様様、確認させていただいております。

今日は、長期戦略の策定に向かって今進めているところでございますので、皆様方から今後の在り方等々、伺わせていただこうと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

○**行政部長** では高野市長、よろしくをお願いいたします。

○**府中市長** 本日はこのような小池都知事との意見交換の場を設けていただきまして、心より感謝を申し上げます。

早速ですが本日のテーマであります、都の長期ビジョンや長期戦略、都の施策に関連して各市区町村の重要施策及び都に望むことの内容に沿って、大きく2点要望をさせていただきたいと思っております。

府中市では積極的な道路基盤の整備推進と、鉄道や路線バス、コミュニティバス等、公共交通の整備促進により、市民の生活を支える交通インフラを構築すると共に、本市の中心市街地である京王線府中駅周辺の市街地再開発事業を完了させる等、これまで着実に都市基盤の整備を進めてまいりました。

また、本市も近い将来、必ず直面するであろう人口減少や少子高齢社会に対応するため、公共交通と道路とが交差する鉄道駅を中心とした地域拠点の機能強化にも力を入れているところであります。

本日は重要な地域拠点の一つであり、かつ長年の課題となっている交通基盤の改善に取り組んでおります分倍河原駅周辺のまちづくりについて、御紹介をさせていただきます。

はじめに鉄道ネットワークにおける分倍河原駅の位置付けについて、御説明をいたします。府中市の鉄道ネットワークは4路線で構成され、14の駅が整備されていますが、その中でも本市の中心市街地を補完する拠点である分倍河原駅は、JR南武線と京王線の交通結節点として、その利便性の高さ等から利用者も年々増え続けておりまして、京王線では新宿駅を除く3番目に、市内14駅の中では府中駅を凌ぎ、最も乗降人員が多い駅となっております。

次に分倍河原駅及び駅周辺の現況について説明いたします。分倍河原駅は現在、駅施設が整備されてから50年以上が経過をしております、年々増加する駅の乗降人員に対して

狭隘な駅構内の安全性、利便性の向上が求められております。併せて駅周辺では建物が密集し、非常に狭い空間に老朽化した自由通路がありまして、交通基盤の改善が長年の課題となっております。駅改良と連携して、一体的に周辺整備に取り組む必要があるところがあります。

そして分倍河原駅周辺整備のイメージと実現に向けた取組状況について、最後に説明させていただきます。この駅のまちづくりにつきましては、平成 28 年度から東京都に技術的な御支援をいただいております。昨年度には分倍河原駅周辺の交通施策を戦略的に進めるため、府中市都市地域交通戦略を策定いたしました。

また、まちづくりの取組状況といたしましては、核となる駅の改良と共に、鉄道をまたぐ自由通路や、駅前広場等の交通基盤整備に早期に着手すべく、事業化に向けた具体的な検討を進めており、引き続き東京都には御支援と御協力を賜りたく、この場をお借りしてお願いをするものでございます。

また、交通ネットワークを形成する上で重要となる都市計画道路の事業促進、及び多摩川架橋と周辺道路の整備についても、特段の御配慮を重ねてお願いを申し上げます。

続きまして 2 点目の東京 2020 大会後のレガシーの創出について、御説明をさせていただきます。

ちょうど 1 週間前のことですが、9 月 20 日金曜日に待ちに待った世界が注目する国際スポーツ大会、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会が開催いたしまして、現在府中のまち全体が大変な賑わいと盛り上がりを見せているところであります。また、東京 2020 オリンピック、パラリンピックまであと 300 日余りということで、こちらも今から待ち遠しく、大変楽しみにしているところです。

本市はラグビーワールドカップではイングランド代表とフランス代表の公認チームキャンプ地に、また、東京 2020 大会ではオーストラリアとオーストリアのホストタウンや、7 人制ラグビー日本代表のキャンプ地となっております。各競技会場にも隣接していることから、国内外から訪れる方々へのおもてなしと歓迎のムードが高まってきているところであります。

さらには自転車競技ロードレースでは、スタート地点の都立武蔵野の森公園をはじめ、本市に所在します国指定の天然記念物けやき並木や大國魂神社等、府中市が誇ります歴史と文化が香るまちの要所を選手達が通過するというのもありまして、本市の魅力を世界中に発信できる機会に恵まれたと、大変嬉しく思っているところであります。

それではここから少し具体的な内容に入らせていただきます。本市ではこれまで両大会の開催に向けて、都立武蔵野の森公園内の府中朝日フットボールパークにおいて各国の代表チーム、これは知事に先日御視察いただいたところではありますが、各国の代表チーム等による利活用が図れるよう環境整備を進めてきた結果、おかげさまで当該施設が男女ラグビーセブンズの日本代表の JOC 認定競技別強化センターに認定をされました。

両大会終了後におきましても、この良好な環境をレガシーとして引き継ぎ、市民のスポ

ーツ活動の推進をはじめ、一流スポーツの観戦機会の創出等、本市のスポーツ振興の拠点として整備活用を図れるよう、公園管理上の柔軟な運用に特段の御配慮をお願いするものであります。

また、武蔵野の森総合スポーツプラザにおいては、多摩地域唯一のパラリンピック競技会場であることから、東京 2020 大会後も引き続き車椅子バスケットボール等のパラアスリート大会の開催機会の創出に御支援を賜りたく、お願いを申し上げます。

なお、同施設は調布基地跡地における歴史的な経過を踏まえ、多摩地域のスポーツ振興の拠点として整備されたものであることから、今後、管理運営方法等を見直す際には、事前に地元の 3 市であります調布市、三鷹市、本市との意見交換を密に行っていただくと共に、多摩地域を活動拠点とするトップチームのホームコートとしても活用する等、市民が一流スポーツを観戦できる機会の創出に特段の御配慮を賜りたく、お願いするものでございます。以上でございます。

○知事 ありがとうございます。いくつかのポイントに絞ってのお話だったかと思いますが、まず交通の関係でお話のありました分倍河原駅周辺の改善についての御要望かと思えます。

写真を拝見しましても南北自由通路が狭いですよね。それから駅前広場を含む駅と、それからまちの一体的な整備についての検討が必要ということをお話から感じたところがあります。

府中市や JR 東日本と京王電鉄の関係者と緊密な連携をとっていただいて、そして分倍河原駅周辺のまちづくりに主体的に取り組むことは重要でございますし、また、そのことも含めて都の職員を副市長として派遣をさせていただいているところでございますので、そこはしっかり都和連携をとっていただければいろんなアイディア、彼を通じて提供できるかと思えます。引き続き市の基盤整備、まちづくりの取組に対しまして、都として協力をしていきたいと考えております。

それから同じく交通でありますけども、道路の方は防災性の強化、地域の発展等、重要な役目を道路は果たすわけでございまして、その意味からも多摩川に掛かる関戸橋の架け替え事業をお進めになっているということをお伺っております。

都市計画道路の整備を引き続き推進をして、交通ネットワークの確保というのは、今後共まちの発展には動脈の確保と同じことだと思っておりますので、その点も対応させていただきたいと思えます。

それからまさに今ラグビーワールドカップの真っ最中で、増々人気の方も高まっているということでございます。先日拝見させていただきました、府中朝日フットボールパークでありますけれども、トレーニング棟もあって、非常に充実した施設かと存じます。

大会が終わった後も有効に活用するというお話で、スポーツ振興の拠点として活用していただくというのは重要だと思っておりますので、整備とか活用についてはこの後もまた関係局の方に御相談いただければと思えます。

それから特にパラリンピックの成功が今回の東京大会の一番のメルクマークになると、

私がかねがね申し上げておりますので、このパラアスリート大会を開催する、それによってパラリンピックが東京大会の2回目のパラリンピックをホストするまちとしてのレガシーにしていくということで、開催機会の創出ということについて、平成30年度から都といたしまして、武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されている車椅子バスケットボールの国際大会の共催や経費の補助、情報発信等を共にやらせていただいていたわけであります。

いずれにしましても武蔵野の森総合スポーツプラザは、都民の多様なスポーツ活動の拠点になるわけで、また、総合的なスポーツ施設でございますので、多摩地域のスポーツ振興の拠点として活用していただければと思います。

地元3市が関わっておられますから、情報を共有して意見交換等もさせていただいて、地元のみならず多摩地域全体の拠点としてフルに活用していただけるように、施設の運営をしっかりと行っていきたいと思っております。

今度の大会においても、来年の大会においても、大國魂神社の所を通って、けやきのあの通りをがーっと進むわけですね。とてもインスタ映えする所ですし、世界にPRするチャンスだと思っております。

**○府中市長** ありがとうございます。交通ネットワークの整備という点については、府中市は多摩地域のちょうど中央に位置する関係で、車もそれから鉄道を利用される方も乗り換えや様々な目的で通過する方も非常に多いので、今お話をさせていただいた分倍河原の駅の整備、また周辺のまちづくり、さらに知事の方からも具体的に名前を出していただきましたけど関戸橋の架け替え、これは長年に渡る工事ですけれども、ぜひ順調に工事が進むように東京都さんの御支援をいただきたいと思っております。

あと、今本当にラグビーのワールドカップで、試合ごとにあのけやき並木でパブリックビューイングをさせていただいているんですが、日本とロシアのオープニングの試合の時には数時間に渡ってですけど、警察の方で7,000人の方が来たんじゃないかと。

大國魂神社を背にして、大きなテレビ画面を置きまして、試合を中心に見る方と、あといろいろと飲食も楽しみながらご覧いただけるようなテーブル等の配置もしておりました。確かにインスタ映えする光景であります。3日、4日前にはフランスの代表の選手達がああ場所に文化交流に非常に楽しく来ていただきました。ですので、今後共ぜひ御支援をいただきたいと思っております。

**○副知事** 8月の下旬に武蔵野の森で開催されました車椅子バスケットのテストイベントにおきましては、府中市内のたくさんの小学生の皆さんに見ていただきまして。

**○府中市長** そうですね。

**○副知事** 本当に盛り上がったというふうに聞いております。

**○府中市長** ありがとうございます。

**○副知事** お話のとおり、唯一の多摩地域でのパラ本番の会場ということでもございますので、本番中はおもによりレガシーとしてのパラスポーツの発展のためにも、都と市とが連携して頑張っていかにさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

○府中市長 ありがとうございます。オーストラリアのホストタウンということで車椅子バスケットボール、これは2回目なんです、事前キャンプとして府中に来ていただいて、府中の体育館で事前の練習をした時にも子供達が観戦に行ったり、あるいは一緒にバスケットボールで楽しんだり、交流させていただいております。本当に子供達の心に残っていると思いますので、今後共ぜひ御支援をいただきたいと思います。

○行政部長 それでは最後に知事から一言お願い申し上げます。

○知事 年末にかけてこの長期のビジョン策定ということを進めております。今日お話になれなかった部分等も含めてお伝えいただければと存じますし、また、多摩のスポーツ拠点としての府中、そしてまたものづくりや様々な企業等も集積しているかと存じます。そういった今後の経済の発展等々についても、また御意見を伺えればと思っております。よろしく申し上げます。

○行政部長 本日はどうもありがとうございました。これで意見交換を終わらせていただきます。ありがとうございました。